

長崎ほしくだより

No.215
2012.7

発行人 谷川和啓
編集人 古場むつ美
購読料 1部 55円

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

「生きていてくれたら それでいい」

北京オリンピック
最終予選…2008年5月…

母になれた日
昭和64年1月3日 午後



航平と… 嬉しい一枚です

息子の航平とその妹の春日は、仲良く運良く奇跡的に北京オリンピック最終予選へと突き進むことができました。親にとっては、ここまで予選を通過してきたことが驚きでありまさしく奇跡としか言いようがありませんでした。



松岡修造さん ご見学に来られました とても喜んでくださり感謝して下しました

中、私は大変なつわりに襲われたのです。なんとということだ。私の予定にはない苦痛な日々が続き始めました。「赤ちゃんが元氣な証拠ですよ！」ニコニコと応えるナース。私は「飯も入らず水さえ飲めない状況のなか、ナースの笑顔が小悪魔に見えるほどでした。」

「ママ、NHK杯来る？」娘も今回また、兄と一緒にロンドンオリンピック最終予選NHK杯の出場を決めていました。4年前と全く一緒でした。「パパと来るよー赤ちゃん頑張ってね！」うん、ママもいつものように応援よろしくね

「内村さん、入院しましょうか」お医者様の言葉になぜかホッとした私。「赤ちゃんが育たなかったらどうしよう」と思っていたのです。点滴のお陰か状態は良くなりました。退院するにやほりまた同じ状態がやって来たのです。

「選手育成で大切にしていることは、子どもが安心して居場所を作ってあげること、これに尽きます。心が安らぐということ、常に守られていること、そして貴方が必要なのだと感じさせてやること。それが子どもには一番の薬だと思います。私がつわりだったときの母のように…」

「稲荷寿司作ってきたわよ」遠い諫早の実家から、母が私の好物を一杯抱えて様子を見に来てくれました。その日は夕方までにその稲荷寿司をなんと20個も食いられたのです。つわりなどどこに吹っ飛んだのだろう。夫も母も笑っていました。母とお買い物に行き、赤ちゃんのことなど話し、楽しいひとときでした。そのとき私は初めて『私の薬は母だったんだ』と気付いたので。

「継続する力」この何度も何度も飽きずに行う…という行動は、まさに本人がそのことに集中している、そして好き、という心。そうでなければ楽しくないしやり続けることは不可能だと思ふのです。やり続けさせることのひとつとして親の辛抱と努力もいります。「ほら、行くよ！」と言いたくもなるし「忙しいんだから」と思うこともあるでしょう。私が常に努力しなければいけないと思っていることは、子どもが何かに取り組むその才能が芽生える時期はそうそう来るものではない、今かもしれない、明日かもしれない、だとしたら「今」の状態をきちんと受け入れ、良い環境を作ってやることなのです。

スポーツクラブ内村 内村 周子
プロフィール
長崎純心女子高等学校卒業後現在の長崎県立大学卒業
その後 体操教室で幼児体育の指導にあたる。1992年に夫 和久氏と共にスポーツクラブ内村を開設。2歳から大人までの体操を指導。クラシックバレエ教師(Shu/バレエスタジオ)も行っている。
現在 スポーツクラブ内村-Shu/バレエスタジオで幼小から大人の方までの指導に携わっている。
北京オリンピック個人総合銀メダル・世界選手権ロンドン・ロツテルダム・東京・個人総合金メダル三連覇となった内村航平を1989年に、1991年にはその妹 春日(はるひ)を出産。2児の母でもある。

虹
新園舎へ引越 越し快適な生活を過ごしたのもつかの間ゴール デンウィーク前に、つばめが白壁に巣作りを始めた。その様子を見せあげたい気持ちはありましたがテラスにたくさんの落し物を残し衛生的にも良くないので休日に全面ネット張りを行ないました。しかし賢いつばめはネットのつなぎ目から簡単に入り込み、あざ笑うかのように、こちらを見て鳴いています。この日から自然との戦いが始まりました。田植え前になると、今度はカエルが入り込みました。少しくらいなら子ども達も嬉しいでしょうが、言葉で表現できないくらいに多すぎます。早番の職員はテラスに一歩踏み出そうものならカエルを踏まないように歩くだけで必死です。一斉にテラスから園庭にダイビングする様子は早番の先生だけが見る特権です。園舎周りが田んぼだらけなので仕方ないとあきらめました。夏には芝のなかにヨトウ虫が大発生。それを目がけて、地蜂の大群が押し寄せ、裸足で遊んでいる子どもの足裏を直撃。幸い大事には至らず安心しました。春の気配を感じたころ、今度は大変異臭がひどいヤスデが出現。虫に触ると石鹸で洗ってもその臭いは取れず、私達が考えた方法は一匹ずつ割り箸でつかみ捕る方法しかありませんでした。すごく根気のいる作業ですが、側でいつも見ていた子ども達は先生、赤ちゃんがいっぱい生まれたね」とその感性の違いには驚かされました。いろんな虫との出会いが私達の心を大きく成長させてくれました。(M)

長崎ほいくだより

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

購読料 一部 55円

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。